公立大学法人
長野大学
NAGANO UNIVERSITY

長野大学キャンパスニュース

# CAMPUS NEWS

vol.119

撮影:上田電鉄別所線「千曲川橋梁」

CONTENTS

【SPECIAL FEATURE 特集】
新入生インタビュー/地域を学びのフィールドにしたゼミナール紹介
【REGULAR CONTENTS】
地域×研究（長野大学 研究紹介）

ソーシャルワーカーとして地元に貢献するのが目標です。そのために地域に根付いた学びと活動ができ、精神保健福祉士と社会福祉士の資格取得をめざせる長野大学を選びました。ボランティア活動にも取り組みたいです。

森 航暉さん
社会福祉学部
（長野県上田染谷丘高等学校出身）

地域の企業と連携した実践的な学びができることが魅力でした。プロジェクト型学習で課題解決のための能力を養いたいです。将来、地元の新潟県魚沼市で多方面から地域の発展に携われるような人材になりたいです。

近藤 千織さん
企業情報学部
（新潟県立小千谷高等学校出身）

障がいを抱える家族の姿を間近にみて、力になれることを学びたいと長野大学を志望しました。地域をフィールドワークにした活動の中で、障がいについて学び、将来は特別支援学校の教員として子どもたちの支えになりたいです。

五十嵐 叶さん
社会福祉学部
（山形県立南陽高等学校出身）

地域づくりや町おこしの基礎になる環境と観光を学べる長野大学を選びました。大好きな真田氏ゆかりの地で地域活性化の何たるかを学び、故郷を元気づけられるような仕事に就きたいです。

加藤 悠さん
環境ツーリズム学部
（岡山県立新見高等学校出身）

観光やまちづくりに興味があり、大学では地域の資源や魅力を生かしたまちづくりを学びたいです。住民の声が聞けるフィールドワークで課題発見や解決力を磨き、将来は富山県の観光業に貢献したいと思います。

宝田 穂乃花さん
環境ツーリズム学部
（富山県立大門高等学校出身）

小諸城を3DCGで復元するプロジェクトで研究したいと長野大学を志望しました。CGの応用技術と経営分野での知見を培いながらCGの技術を地域に活かせるCGクリエイターをめざしたいです。

入月 龍輝さん
企業情報学部
（静岡県立科学技術高等学校出身）

地域を持続するためには自然保護が大切だと考えています。地域に密着した体験型学習を通じて、環境や環境教育、里山保全などを学び、将来は自然体験活動のプログラムを提供する自然学校を開きたいです。

戸澤 伴栄さん
環境ツーリズム学部
（福井県立敦賀高等学校出身）

福祉、心理、発達支援の３分野を学べる長野大学を選びました。中でも人の心や行動を理解するための心理学に興味があります。将来は岩手県に戻り、軽米町役場職員として地域のために働きたいです。

鶴飼 和也さん
社会福祉学部
（岩手県立軽米高等学校出身）

生まれ育った対馬の自然環境を守るため、自然保護官になるのが夢です。フィールドワークを通じて、地域と協力して行う自然環境の保全方法や環境へのアプローチの仕方などを深く学びたいと考えています。

高原 新汰朗さん
環境ツーリズム学部
（長崎県立対馬高等学校出身）

将来は児童福祉司として児童相談所で働きたいと考えています。児童福祉の分野で、子どもや家庭にまつわる課題を、生活圏である地域にも視点をおいて研究し、ボランティア活動にも力を入れたいです。

安江 凜さん
社会福祉学部
（岐阜県立長良高等学校出身）

情報を有効活用して身近な問題を解決できるエンジニアになりたいと考えています。ビッグデータの中の有効活用されていない情報の活用方法を探り、その情報を使った問題解決方法を研究したいです。

宮坂 薪輝さん
企業情報学部
（長野県松本工業高等学校出身）

イベントを通して観光地の魅力などをPRするイベントプランナーになるという夢の実現に一番近い大学が長野大学でした。地域に根差した学びを通じて、「顧客の思い」を大切にした経営の知識を実践的に学んでいきたいです。

岡本 妃乃さん
企業情報学部
（和歌山県立田辺高等学校出身）

経営、情報、デザインを包括的に学びながら、企業の課題解決を目標にした活動体験ができるプロジェクト型学習に大きな魅力を感じました。幅広い視点や知見を深められるよう頑張りたいです。

坂本 優哉さん
企業情報学部
（山梨県立甲府第一高等学校出身）

体験型学習やボランティア活動を通して、福祉心理、とくに認知心理学を深く学びたいと考えて長野大学を選びました。将来は病院や福祉施設で、高齢者とその家族のストレスケアに携わりたいです。

小林　友津さん
社会福祉学部
（福島県立喜多方高等学校出身）

環境と観光の視点から観光まちづくりを学べる長野大学に魅力を感じ進学を決めました。将来は豊かな自然とウインタースポーツ、特にカーリングを通じて地元軽井沢町をより良い観光地にできるような仕事をしたいと考えています。

上野 結生さん
環境ツーリズム学部
（長野県岩村田高等学校出身）

# 新入生インタビュー

長野大学にはたくさんの夢と目標をもった学生が全国から集まっています。4月から長野大学の一員となった新入生に、入学して感じていることやこれからの抱負を聞きました。

NEW STUDENTS INTERVIEW

# 地域を学びのフィールドにした ゼミナール紹介

## 地域から求められる人材を育てる 地域協働型教育

長野大学の教育の柱の一つに「地域協働型教育」があります。これは、地域（自らが生きる場所）で、地域の人々や企業・組織と協働しながら、その地域の課題を発見、問題解決を進めるプロジェクトや研究のことです。学生たちはこうした活動を通じて、地域の課題に自分事として向き合うことで、地域から求められる人材へと育っていきます。

具体的にどのような「地域協働型教育」を実施しているのか、専門ゼミナールの活動を紹介します。

### 3つの教育の柱で、地域社会から必要とされる人材育成

**教養教育**

さまざまな価値観や文化など、幅広い知識を身につけるとともに、論理的で批判的な思考と豊かな感性を養成します。

**専門教育**

地域社会での役割を想定しながら、職業人として必要な能力・姿勢を養成し、企業や組織のなかでリーダーシップを発揮できる高い専門性と問題解決能力を持った人材を育成します。

**地域協働型教育**

自らが生きる地域を舞台に、地元住民や企業・組織と協働しながら、地域課題に向き合い、考える力や想像する力、共感する力を養成します。

## 環境ツーリズム学部

# 地域で学部の枠を超えて学びを深めたい

松下専門ゼミナール（担当教員：松下 重雄教授）

**松下ゼミでは、地域住民・NPO・企業・行政の協働（パートナーシップ）による地域再生（環境再生、社会再生、経済再生）をキーワードとして観光まちづくりについて学んでいます。多様な主体がいかに協働して、地域の資源を活用しながら持続可能な地域社会を実現していくかの研究に取り組んでいます。**

芋川 史貴さん 環境ツーリズム学部3年
（長野県中野西高等学校出身）

### 学生の取り組み

松下ゼミでは、「中高生が地元に愛着を持つためにはどうすればよいか」をテーマに「コミュニティスクール」をツールとして、実際に地元の中高生にアプローチを与えられるような仕組みづくりなどの方法を学んでいます。私の地元・中野市の中高生世代が地域に愛着を持てれば、若者の転出を食い止められ、観光客に中野市の魅力を伝えられるのではないかと考えています。

また、上田市内5大学と上田市が共同運営する、地域と大学の連携拠点「まちなかキャンパスうえだ」で学生コーディネーターとして活動し、さまざまな出会いを経験しています。ほかにもまちづくりに参加したい学生のプラットフォームづくりを軸に、学生と地域を結びつける方法を研究しています。今後もこの２つの活動を柱とし、学部の枠を超えて学びを深め、いつか中野市に学生が活躍できる場所をつくりたいと考えています。

**担当教員からの一言**

地域が抱える課題を地域と共に解決していく。そのプロセスを実際に経験していく中で、学生たちは地域協働によるまちづくりのあり方を学んでいます。主体性と社会性を持ちながら、まちづくりの現場で実践を重ね、学びを深めていってほしいです。



## 社会福祉学部

# コロナ禍の課題に対応した地域活動を展開

中村専門ゼミナール（担当教員：中村 英三教授）

**中村ゼミは、グループ討論やグループワークを通して社会性や積極性を養い、そのうえで学習成果を地域における実践的な活動に結び付ける取り組みを行っています。地域活動に関心のある学生が多く、高齢者施設や地域の団体など幅広い分野で、枠にとらわれず積極的に活動しています。こうした地域活動の経験は、社会福祉の「知識」や「技術」を向上させるほか、人との出会いを通じて地域の多様な福祉課題を知ることに役立っています。**

### 学生の取り組み

中村ゼミの新田の風グループで活動しています。「新田の風」とは、上田市新田地域で安心して老いを迎えられるまちづくりを進めるNPO法人で、同法人が運営するふれあいサロンで高齢者と関わる活動を続けてきました。新型コロナウイルスの影響でその活動ができなくなり、直接お会いしなくても交流ができる方法として、昨年からサロン利用者に手紙を届ける活動を始めました。

上田市から支援金を得て「お元気お届け便～拝啓　新田地区のみなさま～」として、サロン利用者に向けて自筆で手紙を書き、民生委員の方などに届けていただきました。同封した返信用はがきでいただいたお返事には、さらにお返事を書き、活動の感想を通信の形にまとめて発行しました。取り組みの中で直面したさまざまな課題を解決しながら、再びサロンでのイベントが開催できるまでこの活動を継続していく予定です。

東信ジャーナル（令和2年12月12日付）

**担当教員からの一言**

豊かな感性は、人との出会いや自然との対峙を経て、五感を感じることなくして培うことはできません。社会福祉にはそうした豊かな感性を持った人材こそが求められています。学生には実践的な学びから、専門知識と技術を合わせもつ力を身につけ、地域で活躍できる人材に育ってほしいです。

村田 陽香さん 社会福祉学部4年
（愛知県立国府高等学校出身）

## 企業情報学部

# 新たな提案で地域の企業を活性化したい

森専門ゼミナール（担当教員：森 俊也教授）

**森ゼミでは、企業イノベーションプロジェクトを研究テーマに、企業の抱える課題を発見し、多彩なアプローチで解決へとつなげる活動・研究を行っています。ゼミ生はいくつかの班に分かれ、長野県内の企業にアプローチし、その企業の抱える課題を見つけ、経営学の視点から経営戦略を組み立てます。今までにない商品やサービスを考案する中で、問題解決能力を養い、実践的にイノベーションを生み出す論理を研究しています。**

### 学生の取り組み

森ゼミの「企業イノベーションプロジェクト」で、県内の企業の方から話を聞き、その中から課題を見つけ、新商品や新たなサービスを班で話し合い、実際に企業に提案するなどの活動を行っています。SNSなどを使った市場調査や、実際に広報をするなどの実践的なことも行っています。

昨年度、私の班では立科町のホテルを対象に話を聞き、課題を見つけ新商品を提案する活動をしました。ホテルのコンセプトは「親子三世代で楽しめること」ということでしたが、実際には親や祖父母の世代は楽しめていないのではと仮説をたてました。そこで、好評のバイキングを活かしながら、三世代が好むおかずでお弁当を作り、屋外で家族みんなで楽しめるプランを提案させていただきました。今後も地域や企業と関わる中で学びを深め、地域全体が活気づく取り組みを進めていきたい思います。

**担当教員からの一言**

「顧客にしてほしい思い」を原点とした“思いの経営学”をもとに2008年から取り組んでいるのが「企業イノベーションプロジェクト」です。学生には、仲間と協働しながら取り組み、企業や地域と関わりながら、自分なりの意見が言える「素直で生意気な人」になってほしいです。

山本 菜々葉さん 企業情報学部3年
（愛知県立岡崎北高等学校出身）

# 地域×研究

長野大学では、長期的展望に立ち地域から世界につなが る多様な独創的研究を推進することを大学ビジョンのひとつとして掲げています。
こうしたビジョンの実現に向け、長野大学の教員は、地 域を主題とする研究の深化と教育・地域活動への活用を日々実践しています。

## 持続可能なフリーランス労働の可能性

企業情報学部　松永 伸太朗 准教授　【主な担当科目】人的資源管理論

### 労働社会学に基づくアプローチでフリーランス労働を研究

企業に雇用されずに働くフリーランサーが、どのように長期的な展望をもって働くことができるかについて、フィールドワークで得られたデータを労働社会学という学問分野のアプローチに基づいて分析しています。これまで主に日本のアニメ産業で働くアニメーターという職業を対象に、インタビュー・参与観察・ビデオ分析などの多様なフィールドワークを組み合わせた研究をしてきました。近年は地域を支える観光や不動産業など、地域内で組織間移動を頻繁に行う労働者の研究にも着手しています。

### 現代社会で多様化する働き方の動向を見据える

現代社会は人々の労働のあり方がきわめて多様化しつつある社会です。企業で働くいわゆる正社員でさえも、副業・兼業の推進などによって、一つの組織のみに所属して働くというキャリア形成のあり方は自明ではなくなっています。このような社会動向のもとで、組織を横断しながら働くフリーランサーがどのようなキャリアを形成しているのか、どのような生活を送っているのかを捉えることは、この社会における働き方の動向を見据えるにあたって非常に重要な問題といえます。

### 調査対象の企業の取り組みに資する研究を

多角的なフィールドワークを生かして、調査対象の企業の取り組みにも資する研究を意識してきました。さらに、アニメ制作者支援を行うNPOの活動などに関わったこともあります。長野県内での連携はまだ途上段階ですが、これまでの企業調査経験を生かして、ゼミでは毎年複数の企業に訪問させていただき、調査活動を行ってきました。今年度は、これをさらに強化して具体的な人事・労働関係の取り組みに関する提案を行うことを目標にしています。

**松永伸太朗准教授からのメッセージ**

「働く」ことは、一見するとどれもお金を稼ぐという同じような活動に見えてしまいますが、その内実は企業の数だけ、働く人々の数だけ無数に存在します。受験生のみなさんには、こういった微妙だけども重要な差異を見抜く「観察眼」を持ってほしいと思います。長野大学は地域の実践と触れながらこうした眼を磨く機会を数多く用意しています。共に社会を見通す鋭い目を磨いていきましょう。

## こころの働きを可視化する客観性を重視する心理学的アプローチ

社会福祉学部　遠藤 忠 准教授　【主な担当科目】社会・集団心理学

### 心理学は“測定の科学”です

心理学は、ヒトの心理（意識や行動）のメカニズム（法則性）を明らかにする実証科学です。心理学研究では、そのメカニズムを明らかにするために主に心理尺度を用いて測定し、測定で得られたデータをさらに統計処理・分析するとともに、その結果について論理的・合理的な解釈をしていきます。

私は心理学の中でも、高齢者心理学と社会心理学の両分野にまたがって研究・教育を実践しています。主な研究テーマは「認知症に対する態度（ステレオタイプや偏見）の測定」、「偏見低減要因の解明」、「老性自覚（主観的な老いの意識）」です。この他にも「被開示性（相手から自己開示されやすい傾向）」や「高齢者介護における自律性支援のあり方」というテーマにも取り組んでいます。

ここでは上記研究テーマのうち「認知症に対する態度の測定」について紹介したいと思います。まず“態度”について簡潔に説明します。ある事柄（例えば，認知症）に対し、私たちは個人において一貫した行動をとる傾向があります（例えば、認知症の当事者とわだかまりなく接するまたは接触を避ける程度）。その一貫した行動を方向づける意見や信念、感情などを包括的に“態度”といいます。なお、ある集団（例えば、認知症患者）に対し私たち個人がもつ根拠にもとづかない固定観念やイメージ（例えば、認知症になると何もかもわからなくなる、など）を“ステレオタイプ”といい、このステレオタイプに否定的な感情要素（怖い、嫌いなど）が付加されると“偏見”となります。さらに偏見が行動化したもの（偏見対象を排除する、嫌がらせをするなど）を“差別”とする考え方もあります。

### 偏見の低減をめざす研究の取り組み

わが国では認知症施策において「認知症に関する理解促進のための普及啓発」を一点目に掲げています。この理由の一つとして、一般世間において“認知症を患う人”に対する肯定的態度の醸成が課題となっていることが考えられます。そこで私の研究室では、他大学の研究者とも協力して、認知症に対する態度を測定するための技法（調査項目など）を開発するとともに、これらを用いて、認知症に対する偏見の低減要因を見いだす取り組みを行っています。見いだされた知見については、学術大会などで報告するとともに、地域の市民向け講座や講演会でも活用しています。

**遠藤忠准教授からのメッセージ**

研究を遂行するためには、その研究テーマの動向を的確に把握することが大切ですので、ゼミでは、主に学術論文などの輪読を行っています。また私の研究に積極的に関わってもらうことで、卒業論文の執筆に向けて研究実践力を高めていきます。受験も研究も、日々の地道な積み重ねがいつか実を結ぶという点では同じものです。受験生の皆さんには、それぞれの夢に向けて日々の積み重ねを大切にしてほしいと思います。

★ このほかの教員の研究についても長野大学のホームページからご確認いただくことができます。ホームページのバナー「地域×研究」をクリックしてご覧ください。

## 上田の名所と長大生

### 上田電鉄別所線「千曲川橋梁」

上田電鉄別所線上田駅と城下駅間の千曲川橋梁は1924年に架設され、赤い橋として親しまれてきました。2019年の台風19号で被害を受けました。橋梁復旧の寄付や署名活動は全国に広がり、行政の財政支援も受けて21年3月に復旧、全線が再開しました。

〈表紙の長大生〉

永濱 澪来さん　社会福祉学部4年
(長野県私立佐久長聖高等学校出身)

高校1年からアーチェリーをはじめました。同じ競技のパラスポーツ選手とあたりまえのように練習をしていましたが、福祉を学んだことで、パラスポーツを客観的に見られるようになりました。卒論では「車いすユーザーの選手の現状と課題」をテーマに今後のパラスポーツの発展について研究しています。

今西 健太さん　環境ツーリズム学部3年
(兵庫県立北摂三田高等学校出身)

長野大学は、何事にも積極的に挑戦する人や、また失敗に対して寛容な人も多く、個人活動の自由度が高い大学です。私は観光について学んでおり「食と観光の関係」をテーマに研究しています。現在、主な活動のフィールドとしている上田市は観光資源が多く、研究の題材としてとても良いところです。


長野大学キャンパスニュース

# CAMPUS NEWS vol.119

発行：2021年6月
長野大学アドミッションセンター運営委員会



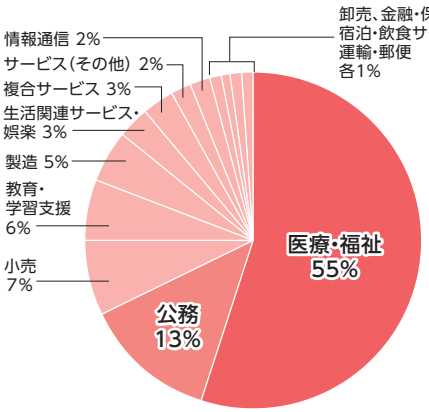
〒386-1298　長野県上田市下之郷658-1
TEL：0268-39-0020
mail：kouhou@nagano.ac.jp
ホームページ：www.nagano.ac.jp


公立大学法人
長野大学
NAGANO UNIVERSITY

## 就職決定率 99.0%

■2020年度全体(2021年4月現在)

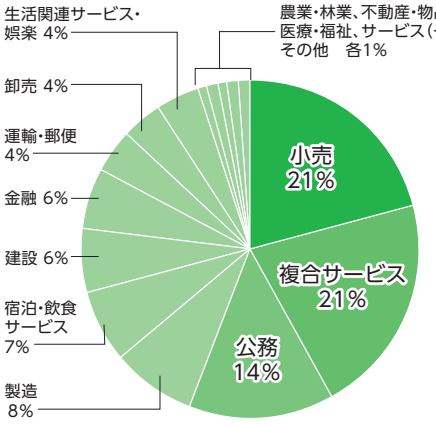
### 社会福祉学部　【就職決定率100%】




■おもな就職先・進学先

- 社会福祉協議会
  (中野市、松本市、小諸市、御代田町、松川町、軽井沢町、山形村、古河市)
- 長野県、長野市、上田市、佐久市、中野市、射水市、瑞穂市、島田市
- 新潟県公立学校教員
- JA長野厚生連 南長野医療センター篠ノ井総合病院
- 市立島田市市民病院
- 飯山赤十字病院
- 信越電線
- ほけんの窓口グループ
- JR東日本
- 茨城大学(教育学部養護教諭養成課程)
- 上越教育大学大学院　他

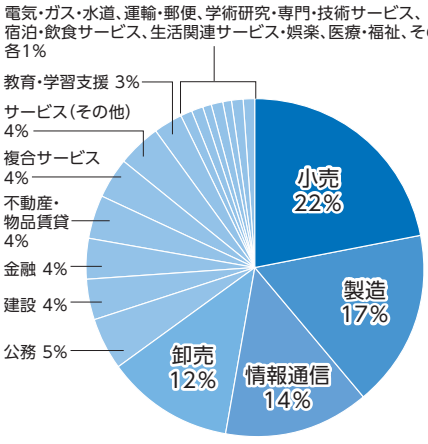
### 環境ツーリズム学部　【就職決定率98.6%】




■おもな就職先・進学先

- 上田東急REIホテル
- 斎藤ホテル
- 星野リゾート
- 福井県、上田市、土浦市、南アルプス市、小布施町、青木村
- JA全農長野
- 農業協同組合(信州うえだ、長野八ヶ岳、グリーン長野、梨北、新岩手)
- 長野県警察
- 大垣共立銀行
- 長野県労働金庫
- JR東日本
- JR北海道
- ジャパネットたかた
- ツルヤ
- ホクト
- 愛媛大学大学院　他

### 企業情報学部　【就職決定率97.5%】




■おもな就職先・進学先

- 福島労働局
- 長野地方法務局
- 高岡市、身延町
- 北陸銀行
- 大東銀行
- 長野県労働金庫
- 東京海上日動システムズ
- コンピュートロン
- 新光電気工業
- キャピタル・アセット・プランニング
- ユニー
- リコージャパン
- 樫山工業
- 千葉大学大学院　他

※おもな就職先・進学先は2020年度卒業生より抜粋
※このほかの就職情報についても長野大学のウェブサイトからご確認いただくことができます。